

感染対策チェックリスト (オムツ交換場面)

<準備するもの>

| 物品内容 | チェック | 物品内容 | チェック |
|-----------------------------------|------|-------------------|------|
| 手指消毒剤 | | 交換用オムツ、パッド | |
| 使い捨てプラスチック手袋 (ケア対象者1人あたり2双+予備) | | トイレトペーパー | |
| 使い捨てビニールエプロン (ケア対象者1人あたり1枚+予備) | | 陰部洗浄用ボトル(1人1ボトル) | |
| サージカルマスク(必要時) | | 清拭用使い捨てウエス又はおしりふき | |
| アイシールド又はフェイスシールド(必要時) | | ゴミ袋 | |

| No | 内容 | 理由 | チェック |
|----|--|---|------|
| 1 | 利用者ごとの必要物品を準備したか | ケアの途中(汚染した手)で物品を準備することによる清潔なものへの汚染を防ぐ | |
| 1' | (やむを得ず、オムツ交換カートを使用する場合) カート上は、汚染物と清潔なものが交差しないように配置したか | 清潔なものへの汚染を防ぐ | |
| 2 | 手指衛生を行ったか | 自分の手指についている病原体から利用者を守る | |
| 3 | 利用者に対し、今からオムツ交換をすることを説明したか | 声かけにより安心感を与える | |
| 4 | 環境整備を行ったか ①室温に留意(目安:22℃~26℃) ②周囲との仕切り(カーテン等) | ①寒さ等の不快感をさける ②利用者の羞恥心への配慮とプライバシーを守る | |
| 5 | 使用する物品のみを ①手の届く範囲 かつ ②利用者の視線に入らない場所に配置したか | ①導線を短くして周囲への汚染を避ける ②利用者の羞恥心、不快感に配慮する | |
| 6 | 防護具を正しい順番で着用したか ①手指衛生 →②エプロン →③マスク・アイシールド →④手袋(2重手袋はしない) | ・利用者が持っている(かもしれない)病原体から自分を守る ・マスク・アイシールドは、下痢等、排泄物が目に入る恐れがある場合にする ・2重手袋は着脱時に汚染する可能性が高い | |

| No | 内容 | 理由 | チェック |
|----|--|---|------|
| 7 | オムツを外し、排泄物の状態や陰部の皮膚の状態を観察したか | 胃腸炎や尿路感染症等の感染兆候や皮膚の炎症（褥瘡等）を知る | |
| 8 | 尿道口→膣口→肛門の順で清拭（洗浄）したか | 汚染が少ない尿道口から汚染が多い肛門の順とすることで、尿道口等への病原体の侵入により起こる逆行性感染（尿路感染症、膣炎等）を予防する | |
| 9 | 臀部は、 上臀部→下臀部→臀裂の順に清拭（洗浄）したか | 肛門部周辺の細菌を広げない | |
| 10 | トイレットペーパーで押し拭きし、水分をよく拭き取ったか | <ul style="list-style-type: none"> ・細菌の繁殖を防ぐ ・皮膚の湿潤による褥瘡悪化を防ぐ ・傷つきやすい皮膚部分である | |
| 11 | 使用済みオムツの内側（汚染面）を中にして折り込んだか | 汚染部位を内側にすることで、周囲への汚染を防ぐ | |
| 12 | 使用済みオムツは取り外した後すぐにゴミ袋に入れたか（事前にビニール袋は口を広げて準備しておいたか） | 周囲への汚染を防ぐ | |
| 13 | 手袋を外し、手指衛生をした後に、新しい手袋を着用したか | 汚染された手袋のまま触れることで、新しいオムツや利用者の身体への汚染を防ぐ | |
| 14 | 新しいオムツの中央を身体の中心に合わせ、ギャザーを外側に立てて、肌に密着するようにテープをとめたか | 正しい装着によりもれを防止して、衣服や周囲への汚染を防ぐ | |
| 15 | 寝衣を整え、オムツ交換が終了したことを利用者へ伝えたか | <ul style="list-style-type: none"> ・寝衣や寝具のシワによる褥瘡を予防する ・利用者に安心感を与える | |
| 16 | ケア後は、すぐに防護具を脱衣したか ①手袋 →②エプロン →③アイシールド・マスク | 一番汚染している手袋から脱衣し、周囲の汚染を防ぐ | |
| 17 | 手指衛生（原則、石けんと流水による手洗い）を行ったか | 利用者の持っている（かもしれない）病原体から自分と環境を守る | |